

〔 日 時 平成 29 年 1 月 25 日 (水) 15:00 ~
場 所 本校校長室 〕

1 校長挨拶

2 議事

(1)現状報告 (◎印：委員、○印：学校)

① 第 2 回授業アンケート報告 (教頭)

○校内平均は第 1 回目より、0.01 上がっている。個人の最高平均 3.65 はここ数年で最も高い数値になっている。昨年より下がっているが、一昨年とほぼ同じ値である。2 回目の結果についての考察はこれからである。

② 学校教育自己診断の結果について (吉村首席)

○今年度はダウンしている項目が多い。「先生の教え方には、さまざまな工夫がなされている。」という項目では、ダウンしているが昨年度全教室にプロジェクターが入ったことによって高い数値になったかもしれない。学年別の比較では 2 年生で下がった項目が多くなったのが全体に影響をあたえているかもしれない。昨年度、学校協議会で指摘のあった教職員の回収率は、今年度は 55 名が回答しており改善が見られた。保護者と教職員の比較では、「保護者からの相談があれば、学校はすぐに対応している。」という項目で教職員と保護者と大きな開きがある。記述の項目では、生徒から授業への要望・意見も多い。カーディガンに関する要望が生徒、保護者とも多い。また、防寒具について誤解しているような意見も見られる。トイレの改修は、生徒、保護者に好評である。

◎全体として下がっているが、学年毎の分析が大切である。

制服について、その学校の象徴でもあるので大事にしてほしい。

○防寒具については、次年度生徒への周知の仕方を工夫する必要がある。

◎メーリングリストは活用しているのか。

◎保護者との連絡が密でないということは気になる。メーリングリストを活用し、家庭との連絡を蜜にすることは大事。

○本校も活用している。登録数は約 790 である。

③ 今年度を振り返って

・進路途中経過 (教頭)

○現時点で大学、短大に合格している生徒は、昨年、一昨年と比べると少ない。これは一般入試の受験者が増えているということである。センター試験は 142 名が受験した。かなり高い得点を取っている者もあり、国公立大で良い結果を期待している。国家公務員 3 種も 10 年振りに合格した。

・生活指導部 (小岸生徒指導主事)

○遅刻は減っているが、欠席は増えている。生徒指導では、SNS によるもの、対人関係によるトラブルなどがある。

◎SNS については、大学生でもラインでのトラブルがある。

◎不登校の生徒に対してどのように取り組んでいるのか。

○支援会議を毎週開き、学年主任、担任、スクールカウンセラー、養護教諭とチームで対応している。担任 1 人が抱え込まないようにしている。

・特別講演会 (横山首席)

○生徒のアンケート結果は、好評であった。3 年生は自分の進路に結び付けて講演を聞いていた。

・初任者 (田中俊一)

◎成長したと感じる点は何ですか。

○年度当初より、心に余裕をもって授業できるようになったことです。

④ 平成 28 年度学校経営計画及び学校評価について (校長)

○年度途中でまだ評価できない項目もあります。学校教育自己診断で前年度を下回った項目については、原因を考察して、次年度に備えたいと考えております。また、来年度の経営計画で新たに付け加えた項目や表現を変えたり、評価指標を変更した項目もあります。キーワードは「自己実現の満足度」にあると考えております。ご意見をお聞かせくださいますようお願いいたします。

◎「河南高校の今」を保護者にも知らせるために web にアップなども考える。

3 校長謝辞